

演題 美しいアンカットダイヤモンド

ダイヤモンドは紀元前 800 年にはインドで使われていたと言われています。14 世紀頃に表面を磨けるようになるまで 2100 年もの間、ダイヤモンドは人の手が加えられることなく、地球が生み出したままの姿でお守りや権威の象徴として、人々を魅了してきました。

ブリリアントカットが人気の現代ですが、今回改めて自然のままのダイヤモンドに焦点を当てて、その魅力を探りたいと思います。形状、均整、肌合いなど、品質は千差万別です。「1 カラットで数百円～百万円の価値の違いが生じるのはなぜか。」といった根源的な問いを皆さんと共に考えていきたいと思っています。

諏訪 恭一（すわ やすかず） 紹介

1942 年 東京生まれ
1965 年 慶応義塾大学経済学部卒業
同 年 米国宝石学会（GIA）宝石鑑別士（G.G.）の資格を日本人第 1 号として取得
1966 年 家業宝石商・諏訪商店（1908 年創業）に就業
1969 年 宝石輸入卸、諏訪貿易株式会社設立と同時に専務取締役就任
1981 年 同社取締役社長に就任
1983～1985 年 CIBJO（国際貴金属宝飾品連盟）色石委員会副委員長
1985～1989 年 ICA（国際色石協会）執行委員
1991～2001 年 NHK 学園ジュエリー講座講師
1995～1996 年 日本ジュエリー協会 宝石部会 ダイヤモンド小委員会委員長
1997～1999 年 日本ジュエリー協会 理事
2007 年 諏訪貿易株式会社社長に就任
2022 年 特別展「宝石」地球がうみだすキセキ（於 国立科学博物館、名古屋市科学館）監修者

著書

「宝石 品質の見分け方と価値の判断のために」（1993 年 世界文化社刊）
「ダイヤモンド 原石から装身具へ」（2009 年 世界文化社刊/アンドリュー・コクソンと共著）
「価値がわかる 宝石図鑑」（2016 年 ナツメ社刊）
「品質がわかる ジュエリーの見方」（2019 年 ナツメ社刊）
「指輪が語る宝石歴史図鑑」（2022 年 世界文化社刊/中村淳写真）
「決定版 アンカットダイヤモンド」（2022 年 世界文化社刊）